

# 令和6年度シラバス

視能訓練士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
基礎視能矯正学 I		講義・演習	山本 雅美	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
30 時間 ( 1 単位)		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
基礎視能矯正学 I では眼位と両眼視、外眼筋の作用、眼球運動について学びます。ここでの知識の習得は後の視能矯正学等の発展に不可欠です。まずは正常を理解し、視能障害を分析的に考える力を養います。				
授業の到達目標				
視能矯正学・視能訓練学に発展するために眼位と両眼視、眼球運動の基本的知識を習得する。 ①正常両眼視機能の成立を理解する。 ②複視の起こり方を眼位別にイメージができる。 ③網膜対応を状態別にイメージができる。④外眼筋の作用、眼球運動のメカニズムを理解する。				
授業計画				
回	内容			
1	ガイダンス 眼位の定義 眼位の種類 眼位の状態 斜視・斜位の種類			
2	両眼視の定義 正常両眼視機能 (両眼視野 実際空間と視空間 網膜対応) 確認テスト①(眼位)			
3	正常両眼視機能 (ホロプタ円 Panumの融像感覚圏)			
4	正常両眼視機能 (同時視 融像 深径覚)			
5	正常両眼視機能 (静的立体視と動的立体視 抑制) 両眼視機能の発達 両眼視機能成立の条件			
6	確認テスト② (両眼視)			
7	両眼視機能の異常 (両眼視機能の異常と程度 複視)			
8	両眼視機能の異常 (複視 抑制 混乱視)			
9	確認テスト③ (複視)			
10	両眼視機能の異常 (網膜対応異常)			
11	確認テスト④ (網膜対応異常)			
12	外眼筋の単独佐用① 確認テスト⑤ (複視 網膜対応異常)			
13	外眼筋の単独佐用②			
14	単眼運動とその法則・両眼共同運動・共同筋と拮抗筋			
15	まとめ			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	100%			
レポート・課題				
小テスト		理解の確認のため随時行う。		
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
視能学 第3版	小林義治 他編	文光堂		
視能矯正学 改訂第3版	丸尾敏夫 編	金原出版		
視能学エキスパート 視能訓練学 第2版	若山暁美 他編	医学書院		
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
なし				
自由記載				
備考				